

〔別 紙〕

様式 1

事業報告書

(自 令和 7 年 6 月 1 日 至 令和 8 年 5 月 3 1 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人 大志会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘 5 丁目 2 番 3 号

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 11 年 9 月 14 日

(4) 設立登記年月日 平成 11 年 9 月 14 日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	重久 偉	フレンド歯科 管理者
理 事	重久 久子	
同	伊藤 真有子	
同	重久 涼陽	
同	重久 朋恵	
同	伊藤 竜太郎	博多住吉歯科・矯正歯科 管理者
同	月野 緑	ハートフル歯科 管理者
監 事	本田 直美	

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第 1 項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第 4 6 条の 5 第 6 項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第 4 9 条の 4 参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種類	施設の名称	施設の医療機関コード 又は介護事業所番号	開設場所	許可病床数
診療所	フレンド歯科	4630136259	鹿児島市桜ヶ丘5丁目2 番地3号	無床
診療所	ハートフル歯 科	4631930221	霧島市国分新町 1088 番 地 5	無床
診療所	博多住吉歯 科・矯正歯科	4030231817	福岡県福岡市博多区住 吉 5 丁目 18-13	無床

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備考

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種類	実施場所	備考

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和7年7月19日 令和6年度決算報告書の承認

令和7年7月19日 令和6年度役員報酬及び借入金額の最高限度額の承認

令和8年5月30日 ハートフル歯科閉院及び月野理事の辞任の承認

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

なし

(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

なし

(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

なし

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

なし

(9) その他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

様式 2

法人名 医療法人 大志会

※医療法人整理番号 0 0 7 5 6

所在地 鹿児島市桜ヶ丘5丁目2-3

財 産 目 録
(令和 8年 5月 31日現在)

1. 資 産 額	290,984 千円
2. 負 債 額	207,430 千円
3. 純 資 産 額	83,554 千円

(内 訳)	(単位：千円)
区 分	金 額
A 流 動 資 産	50,452
B 固 定 資 産	240,532
C 繰 延 資 産	0
D 資 産 合 計 (A + B + C)	290,984
E 負 債 合 計	207,430
F 純 資 産 (D - E)	83,554

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。		
土 地	(□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))	
建 物	(□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))	

様式3-4

法人名 医療法人 大志会

※医療法人整理番号

所在地 鹿児島市桜ヶ丘5丁目2-3

貸 借 対 照 表

(令和 8年 5月 31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	50,452	I 流 動 負 債	17,325
II 固 定 資 産	240,532	II 固 定 負 債	190,105
1 有 形 固 定 資 産	225,570	負 債 合 計	207,430
2 無 形 固 定 資 産	3,987	純 資 産 の 部	
3 その他の資産	10,975	科 目	金 額
III 繰 延 資 産	0	I 資 本 金	10,000
		II 資 本 剰 余 金	0
		III 利 益 剰 余 金	73,554
		IV 評 価 ・ 換 算 差 額 等	0
		純 資 産 合 計	83,554
資 産 合 計	290,984	負債・純資産合計	290,984

法人名 医療法人 大志会

※医療法人整理番号

所在地 鹿児島市桜ヶ丘5丁目2-3

損 益 計 算 書

(自 令和 7年 6月 1日 至 令和 8年 5月 31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	111,129
2 事業費用	118,816
本来業務事業損失	△ 7,687
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
附帯業務事業利益	0
事業損失	△ 7,687
II 事業外収益	3,370
III 事業外費用	1,608
経常損失	△ 5,925
IV 特別利益	970
V 特別損失	2,122
税引前当期純損失	△ 7,077
法人税等	144
当期純損失	△ 7,221

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

様式 5

※医療法人整理番号

法人名 医療法人 大志会
所在地 鹿児島市桜ヶ丘5丁目2-3

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産総額 (千円)	事業の内容	関係事業者と の 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者と の 関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
なし							

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 大志会
理事長 重久 偉 殿

私は、医療法人大志会の令和7会計年度（令和7年6月1日から令和8年5月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 8年 7月 26日
医療法人 大志会
監事 本田 直美

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。